

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		水活化促進助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部 水道局 所属課 上下水道課 所属班 庶務料金班 法令根拠 下水道法、下水道条例						
	施策	10	水環境の保全			課長名 久留 伸二 担当者名 主査 福岡 綾 (内線) 1194						
	基本事業	28	水質の浄化									
予算科目	会計	50	款	1	項	1	目	1	事業連番	12229	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 ⑪ コスト削減優先度評価結果 -
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 56 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
【事業の内容】 ①水洗便所等を改造し公共下水道等に接続された方を対象に水洗便所改造費の助成を行う…改造工事費の6%以内、及び便器1器当り6千円 ※限度額6万円(百円未満切捨)、②排水設備設置工事費の2/3以内※限度額30万円(百円未満切捨)1回限り排水設備費助成を行う…改造等工事費に対する助成金、③生活扶助世帯に対する水洗便所等の助成を行う。※限度額25万5千円、④水洗便所改造費の融資斡旋の完済時に融資額利息の1/2の利子を補給(20年度で完了) 【業務の流れ】 下水道接続者に対する助成金、補助金、補給金の申請受付、審査、決定通知作成・発行、支払事務 【主な予算費目】 需用費、役務費、負担金補助及び交付金												

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・水洗便所改造費、排水設備助成金、融資斡旋の利子補給にかかる事務手続き	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・水洗便所改造費、排水設備助成金にかかる事務手続き
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・毎年4月1日現在で、処理区域内で下水道に接続していない世帯	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)件 ア 助成制度利用件数 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・下水道水活化(下水道への接続)率の向上	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)世帯 ア 処理区域内の未接続世帯 ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・水質が向上する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)世帯 ア 未接続世帯の内接続した世帯 ⇒ イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)% ア 市内河川のBOD(測定地点)基準達成率 ⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	1,758	1,765	4,500	481	2,400	2,000		2,000
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	1,758	1,765	4,500	481	2,400	2,000	2,000		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	4	4	4	5	5	5	5	5		
延べ業務時間	時間	280	150	300	210	340	250	250			
(B)人件費計	千円	1,112	597	1,194	836	1,353	995	995			
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,870	2,362	5,694	1,317	3,753	2,995	2,995			
活動指標	件	39	47	40	30	50	40	40			
対象指標	世帯	1,077	982	880	880	810	720	640			
成果指標	世帯	77	95	100	100	90	80	70			
上位成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	22年度		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
下水道事業を開始と同時に水活化率向上を目的に旧団体各々で開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
未接続及び新規下水道管理設による下水道利用者の増加は、ピークを越えているので、増加率は減少傾向にある。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
下水道法で下水道接続は、供用開始後3年以内と義務づけられているので、それに沿って助成制度は基本3年以内の工事を対象としているが、その制限の撤廃を求める住民の声はある。

事務事業名	水洗化促進助成事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図する水洗化率の向上により、衛生的な生活環境の向上ができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 助成制度については、水洗化率が向上する事により、環境保全や生活環境の改善、向上に重要な役割を果たすので妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 下水道未接続の理由は、大多数が経済的理由、家屋の老朽化で、新・増築を契機に接続されるのがほとんどである。水洗化をすれば生活環境が向上し快適な生活がおくれることなど、継続的にPRIに努め、助成制度を紹介して接続を推進する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止前に水洗化した住民との待遇の差があるので住民感情からも水洗化促進に悪影響が出る。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 水洗化促進を目的とした助成制度は類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効 率 性 評 価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 廃止前に水洗化した住民との待遇の差があるので住民感情からも水洗化促進に悪影響が出る。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 助成申請者の審査等必要最小限度で運営しているので、これ以上改善の余地はない。
公 平 性 評 価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 供用開始後3年以内の水洗化だが、下水道法に沿った制度なので公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性について、下水道未接続の理由は、大多数が経済的理由、家屋の老朽化で、新・増築を契機に接続されるのがほとんどである。水洗化をすれば生活環境が向上し快適な生活がおくれることなど、継続的にPRIに努め、助成制度を紹介して接続を推進する。 ①目的妥当性、③有効性、④公平性については適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 水洗化促進には、十分有効であり評価できるが、未接続世帯は、住宅の老朽化、高齢者世帯、経済的な事情などの理由で、早急な接続が困難なケースがある。また接続についての直罰規定もない。しかしながら環境面からも、市民の公平性の観点からも100%達成を目指し、引き続き粘り強い働きかけを行っていく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

助成制度やその他の手段をもってしても、水洗化が困難な世帯(高齢者世帯、住宅老朽化、経済的な事情など)があるが、解決策は見いだせない。粘り強く下水道啓発に努める。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	4	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)